

Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看学発 第4巻 第2号

2017年9月号

浜田医療センター附属看護学校

副学校長・看護部長挨拶・・・1P

オープンスクール・・・6P

中四国看護研究学会・・・9P

七夕の会・・・2P

特別講演(プレナース研修)・・・7P～8P

社会人入試について・・・10P

宿泊研修・・・3～5P



1年生(65期生) 48名

宿泊研修!!!

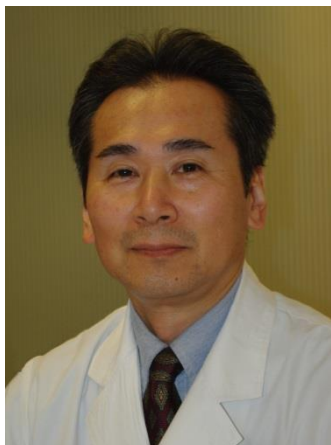
独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校
〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12
TEL0855-28-7788
mail: kanri-t@hamakan.nh.jp
<http://www.hamakan-nh.jp/>

発行責任者 石黒眞吾
編集責任者 高下智香子
編集 田儀千代美、隈部直子、小田川良子、畑中美保、
崎本美子、山岡富美香、福嶋洋子、
三家本八千代、岩成美樹、松野由香、
金山和正



～副学校長挨拶～

最近気になる話題～AIに関して思うこと～



副学校長 飯田 博

最近気になる話題の一つに AI（人工知能）に関する話題があります。耳にされた方も多いと思いますが、囲碁や将棋の世界では AI がプロ棋士と対戦し人間に勝ったと話題になりました。また Google や Apple が自動運転や音声対話システムの研究開発をしています。現在は第 3 次 AI ブームだそうです。人間に出来て人工知能には出来ないことは沢山ありますが、一方で AI は情報の判別・仕分け・検索するなどの「識別」の領域ではかなり進化を遂げています。今年 7 月に NHK スペシャル「AI に聞いてみた、～～～」という番組がありました。AI に経済産業省や総務省などの公的な統計データから民間のデータ、さらには 20 代から 80 代までの個人を 10 年以上追跡している大学や研究機関の調査など 700 万を超えるデータを機械学習（ディープラーニング）させて、AI の分析結果から読み解いた提言の一つに、『健康になりたければ病院を減らせ』というものがあり、その提言は理解できない想像もしない一手でした。医療分野においても、ディープラーニングによるビックデータ収集による画像診断では 97% の信頼度の診断がなされるようになり、将来は CT や MRI などの画像診断検査は AI の領域になるように言われています。

しかしながら医療分野には人間的つながりを必要とする部分が多くあり、AI には代わることの出来ない領域が沢山あります。特に看護の領域はそう思われます。家族のような眼差しで患者に寄り添い痛みを感じ取ることは、AI には出来ません。学生生活を通じて将来のために人間的な心を養ってください。自分の殻に閉じこもらず、積極的に外部との関わりを持つように、そして今何をすべきかを探るように努力してください。期待しています。

～看護部長挨拶～



看護部長 坪倉 功子

浜田医療センターの基本理念は「心のこもった情のある医療」です。この短い言葉の中にある職業人としてどうあるべきか、この地域の中での私たちの果たすべき役割が込められているように思います。

私はこの 4 月に浜田医療センターへ異動して参りました。浜田医療センターに勤務したのは 2 回目で、以前は古い病院でした。今回帰ってきてみるときれいな病院となり、看護師の人数もかなり増えていました。

一番変わったと思うことは、認定看護師という看護の中でもスペシャリストを目指す看護師が増えていたことです。大きな原動力で看護、医療チームの要となってくれています。

学ぶ力があることは看護の大きな力です。当院はいろいろな看護学校からの臨地実習を受けています。その中でしっかりと知識・技術とともに、人として、看護者としての自分を磨いていけるように支援をしたいと考えています。

また、看護師は高い倫理観と、自律と創造する力が求められます。なかなかハードルは高いですが、看護学校と協力しながら臨地実習の中で、私たちとともに働きこれからの医療・看護を担ってくださる人材を育てて行きたいと考えています。

~七夕の会 2017~



2年生 野村 夏生

7月7日の「七夕の日」に、浜田医療センター1Fホールで浜田医療センター附属看護学校、おおぞら保育園、浜田医療センターと合同で七夕会を行いました。

1Fホールの笹飾りには、多くの短冊に願いが書いてありました。笹に短冊を飾り、七夕会の準備している時に、ご主人のお見舞いに来られたご高齢の方が、「私も書きたいな」とおっしゃり、ご主人の回復を願っておられました。そして、「やっぱりいいですね、病院に来ると季節が分からなくなる。季節を感じる物があるといいですね元気になりますよ。」と病棟に向かわれました。その姿を目の前にして、心がなんだか温かくなりました。そんな出来事があっての七夕会の開催でした。

看護学生による『織姫と彦星』の紙芝居。元気いっぱいの園児たちダンスの発表がありました。園児の元気な姿に、会場は和やかな雰囲気になりました。七夕会には、入院患者様が見に来られたり、お見舞いの方が足を止めて見て下さいました。入院生活の中で、少しでも季節を感じ、気分転換になり闘病意欲に繋がったのではないかと感じました。色々な方々と協力し行事を行い、色々な事を感じることができました。

今後は、今回感じたことを大事に看護学実習に向かいたいと思います。

七夕会の準備に協力頂いた皆様、七夕会に参加頂いた方々に感謝いたします。



65期生宿泊研修を終えて～苺ふるさと体験村～

8月30日から9月1日の2泊3日にわたり、浜田市苺町にある苺ふるさと体験村にて65期生の宿泊研修が行われました。宿泊研修の目的は下記の通りです。

- ① クラスの親睦を図り、お互いに協力的役割がもてる。
- ② 主体的に行動し、企画力をつける。
- ③ 自己と他者の違いを知り、自己を見つめなおす。

1日目、体験村に到着し、町内めぐり、アロマ体操、夜は学校長の手作りカレーを食べ、みんなで花火をしました。町内めぐりの時に、施設の方が話をしておられるときに、写真を撮ったり、話をしたり、聞く態度が悪かったなど反省をしました。

2日目、ネイチャーゲーム、ピザ&棒パン作り、流しそうめん、川遊び、BBQ、夜はみんなで集まり、イヤホンガンガンゲームをしました。1日目よりハードスケジュールで、7月の災害により、予定していたヤマメのつかみ取りはできませんでしたが、とても充実しました。1日目の反省を生かし、この日は班行動をすることが多かったように思えます。

3日目、バームクーヘン作り、焼きそば作り、ブルーベリージャム作り、レクリエーション（宝探し、フルーツバスケット）をしました。レクリエーションの宝探しは問題を探し、班のみんなと一緒に解いていくというシンプルなルールです。分からない人がいれば分かる人が答える、みんなが分からなければ一緒に考える、私はみんなより問題に答えることができず少し勉強の焦りを感じましたが、この日一番の班の団結力が生まれたと思います。

この2泊3日を通して、一番に思ったことは、食べてばかりだったなと思います。食べることにより学んだこともたくさんあります。自然に感謝しておいしく食べる、親睦を深める、楽しく食事ができるようにお互いを思いやる、みんなと食べるご飯はおいしいなどです。みんなの意外な一面や、たくさんの笑顔を見ることができたことはとてもよかったです。大人数での行動は難しいですし、まとめてくれるリーダーという存在も大切です。しかし、全てをリーダーに任せっきりにするのではなく、みんなで協力するということを徐々に身につけていけたと思います。施設の方には大変迷惑をかけたと思いますが、とても良くしてもらって感謝しています。入学して約5か月経ちましたが、今まで以上に65期生の距離が縮まったと思います。とても楽しい宿泊研修となりました。今回の研修で学んだことを忘れずに、これからの生活に役立てていきたいと思っています。目標としている2年後の国家試験ではみんなで合格して、一緒に卒業したいです。



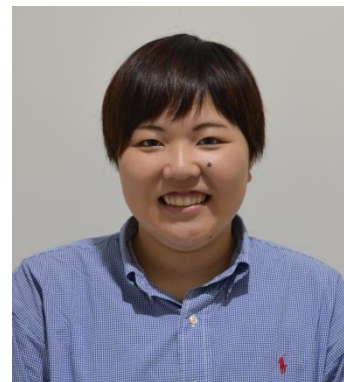
1年生 矢津 李紗



学校長と学生と一緒に
カレーをつくりました！



今回の宿泊研修の目標であるクラスの親睦は日を追うごとに深まっていったと思います。しかし、クラスの中でも進んで行動してくれる人もいれば、周りがちゃんと見えていない人もいました。もっと自分の視野を広げて周りを見て行動する力をつけることがこれからの学校生活の課題にもなると思います。二日目、三日目になると自分から動こうとする人は増えたけど、まだ少ないのでこれからはそれを目標にみんなで頑張っていきたいと思います。高校の部活のようにみんなをまとめようとしても、やる気も気持ちも人それぞれで、リーダーとして指示を出すのは大変でした。リーダーの中でも考えていたことが違っていたこともありましたが、とても大変でリーダーなんかするんじゃないかと思ったりましたが、何人かのクラスメイトが「引っ張ってくれてありがとう」など励ましてくれたので、リーダーをやってよかったなと思いました。



1年生 山崎 香菜

夜遅くまで他のリーダーと次の日の日程についてたくさん話しあいをしました。そのことでみんなをリーダー全員で引っ張っていくこともでき、その日にこれだけはしたいという目標も達成することができ、とてもうれしかったです。

前日にいろいろ日程や時間変更をする必要がありましたが、みんな臨機応変にテキパキと動いてくれました。何よりもどの内容もみんな笑っていたのでいい宿泊研修になったと思います。

私自身あまり話したことがない人と夜遅くまで話したり一緒に料理を作ったりと、たくさんの人と関わったので自分の中では目標達成だと思います。

クラスの人とうまくいかないこともあったけど、後々、振りかえってみたら他者との違いを見つけ自己を見つめなおすという目標につながると思いました。自分が何か声掛けするだけでも何か変わっていたかもしれないし、他人のせいにして自分の考えを正当化してはいけないと思いました。

今回の宿泊研修で思ったことや感じたことを、ナイチンゲール生誕祭や学校祭に生かしていきたいし、周りを見て自分から動くのはこれからの実習や学校生活で大事なので意識して身につけていきたいです。

また、リーダーとしてクラスを引っ張っていく人が少ないのでこれからの行事を通していろんな人がリーダーを経験し、責任感をみんなで身につけていきたいと思いました。



私は、この宿泊研修で班長をしました。三日間で学んだこと、思ったこと、感じたことがたくさんあります。私たちの代は人数が多い分ひとりひとりの考え方、思いがとても強いし、とても個性があるクラスだと改めて感じました。まず一日目は、みんながうまくまとまらず、町内めぐりで担当の方が話されているときも学校の延長線上でコソコソ話をしてしまい、とても申し訳なく思いました。なので、夜の班長会で話し合い、次の日の計画をしっかりとて、みんなに伝えたいことを整理して伝えました。二日目はハードスケジュールだったので時間どおりすすめられるかとても不安でしたが、みんなが遊ぶときは全力で遊んで、動くときはちゃんと動いてくれ、一丸となって準備や片づけをすることができたので、スムーズにきました。そこで、計画を立てることの大切さを改めて実感しました。三日目も時間に追われるハードスケジュールでした。バームクーヘン作りに時間がかかっていましたが、野菜担当や、ジャム担当の人たちがすごく協力してくれたので時間どおりに終わることができました。

人数が多い学年のいいところはみんな協力すれば何事も早く終わるということ、どんなに困難なことでもみんなですれば乗り越えることができるということだと思いました。この三日間でお互いがお互いの事を考え、思いあい、今、自分は何をすべきなのか、何かできることはないのかということを考え、協力することで親睦を深めることができたと思います。そして計画をたて、それをもとに主体的に動くこと大切さを改めて学ぶことができました。

また、班を作ることによって、いつも一緒にいる人とは違う人とたくさん話をすることができ、違う目線からの意見や考え方を聞くことができ、面白いと思ったり、自分にはない考え方をされていて、一つの視点からではなく、いろいろな視点からみることの大切さに気付くことができました。狭い視点でしかみることができなかったこの世界が一気に明るくなって嬉しい気持ちになったので、看護の場でも活かしていきたいと思いました。

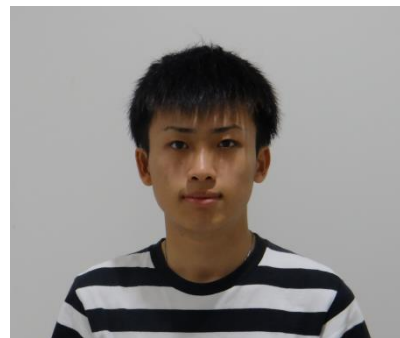
班長というみんなの先頭に立ち、引っ張っていく立場をして、すごくいい経験になったし、みんなを引っ張っていくことの難しさや大変さをたくさん感じましたが、私はこの研修で班長をすることができて本当に良かったです。たくさん悩んだ分沢山山うれしいことがありました。みんなが心から楽しんでたくさん笑って、笑顔満開の三日間を過ごしてくれたことが何よりも一番うれしかったです。これから先たくさん困難があると思うけど、65期生のみんなとなら乗り越えられると思ったり、みんなで乗り越えていきたいと強く思いました。



1年生 佐々木 楓



～H29.オープンスクール夏～



2年生 坂田 雅輝

平成29年7月29日に夏季オープンスクールが開催されました。2年生が中心となって、それぞれのブースごとに昨年のオープンスクールでの課題を考慮しつつ活動を企画し、1年生に指示を出して会場準備から当日の動きまで創意工夫しながら臨むことができました。

私はフィジカルアセスメントブースのリーダーとして、活動を企画・運営しました。ブースの活動内容は、患者の症状の把握や異常を早期発見する技術である「フィジカルアセスメント」を中心に、聴診の実演や血圧測定体験、教材を用いた学習内容の説明を皆で協力して行いました。事前にメンバーには当日の活動内容を大まかには説明していましたが、実際に活動してみるとメンバーが戸惑う様子が見られました。しかし、高校生が頷きながら熱心に聞く姿や、体験の中で専門的な説明をすると驚いたり笑顔を見るとこちらも嬉しくなり、戸惑いも消えていったように思います。私自身も、オープンスクールを通して、他者に説明する上では、自らの理解が伴っていなければ、他者が理解し納得できうるだけの説得力は生まれないことを学ぶことができました。そして、このことを看護の場面においても実践できるよう精進していきたいと思っています。

全体を通して、それぞれのブースでメンバーが協力し合い活動したオープンスクールは来校者の方々に楽しんで頂けるものになったのではないでしょうか。それぞれのブースごと、次年度に向けての課題は残ったと思いますが、今の1年生が来年に2年生となったとき、次回のオープンキャンパスでより良い企画ができるよう役立てて貰いたいです。



～64期生プレナース基本研修～

日時 平成29年6月30日（金）9:00～17:00

対象 2年生 36名

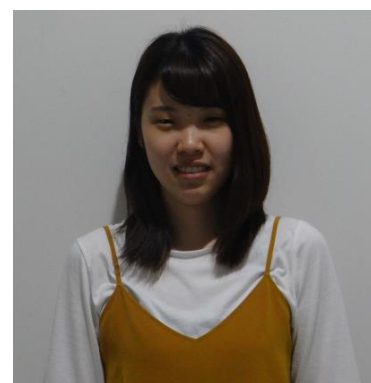
- 目的
1. 病院や社会のルールを学ぶ
 2. 病院実習の心構えを学ぶ
 3. プレナースとしてふさわしい対応マナーを体験学習で身に付ける

講師 エディネット協会 江藤かをる先生（今年で5年目になります！）

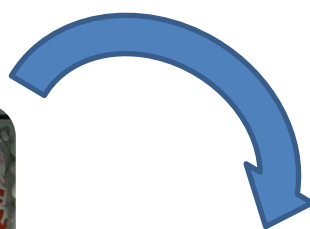
この研修では、看護師という職業に限らず、きちんとした社会人として、組織の中でたくさんの人と関わりを持ちながら生きていくために、自分自身がどのように立ち振る舞えば良いのか学ぶことができました。

今回グループ活動をしてみて、私を含めグループメンバーの特徴として、全体場で意見を述べるのが苦手な人たちの集まりだったように思います。グループという小さな場での発言はたくさんありましたが、全体になると他のグループに圧倒され、なかなか手を挙げるできませんでした。そういった場面で、リーダーとしてグループを盛り上げるべきだったのですが、上手くメンバーを鼓舞することが出来なかったのは、この研修において反省すべき点であったと思います。しかし、メンバー皆でスローガンに掲げたように、一致団結して達成感を得ることが出来ました。

また、ロールプレイングをしたり、言葉の学習をしたりして、いかに自分が正しい言葉遣いも挨拶もできない未熟な人間であるのか実感しました。20歳を迎え成人になった第一歩として、TPOに合わせた正しい言葉をつかえるようになりたいです。また、頼られる人・看護師になるためには、相手を尊重した言動や美点を見つけ、自分から関わっていくことの大切さなど、学びの多い一日になったと思います。



2年生 青木 優芽



江藤先生のお話を聞いて、こんなに変化!!





私は、プレナース研修に参加して、患者さんやご家族の目線に立って考え、行動することができる看護師になりたいと思いました。看護師は、専門職なので自分が気付かないうちに専門用語を使ってしまったり、看護師の立場で、最善だと思って行ったことが、必ずしも患者さんが求めていることではなかったりすることもあると講演の中でおっしゃられていました。もちろん、医療者としての考え方はとても重要で、大切にしていかななくてはならない考え方ですが、その考え方に慣れてしまって、コミュニケーションのずれが生じ、そのずれが生じ続けると、患者さんと信頼関係を築くことができない可能性が確かにあると感じました。そのため、今後は何事にも疑問を持つ姿勢を大切にしていきたいと思います。



2年生 松岡 愛子

9月には基礎看護学実習Ⅱを控えています。私はリーダーとして実習に向け、7月からメンバーと共に学習を進めています。その際に気を付けていることは、美点凝視という観点です。この観点は、相手の良いところを見つけていくというものです。美点凝視の観点で、メンバーと活動していくことで、お互いの注意点やアドバイスなど、意見が出しあえる雰囲気が出来てきていると思います。今後もたくさん使うことができる観点なので、9月の実習だけではなく、普段の生活にも取り入れていきたいと思っています。

いつも静かな2年生…という印象でしたが、今日の研修ではそんな周囲の印象を払拭しました！



～63期生第13回国立病院機構看護研究会の参加を終えて～

第13回中四国地区国立病院機構国立療養所看護研究学会 in 愛媛

今回、私は愛媛県で行われた第13回中四国地区国立病院機構国立療養所看護研究学会に参加しました。

研究を聴講する中で、褥瘡の再発を繰り返すALS患者についての研究が印象に残りました。現在、私は体動困難な患者の褥瘡悪化予防についてケーススタディをまとめているため、この演題に興味を持ちました。ポジショニングに対する患者の不安や恐怖を受け止め、患者が安楽で安心できるポジショニングを実施することで信頼関係を築くことに繋がり、褥瘡発生の予防ができたと話しておられました。この研究から、思いを傾聴し患者にあったポジショニングの検討を行い、患者が安楽で安心して体位保持ができるように関わることの重要性を改めて感じました。

今回の学会では、発表の方法や座長の役割について意識して見ることができました。学校からも各担任の先生方が発表をしておられたり、座長をしておられる姿を見て、決められた時間の中で進行を行ったり、研究内容を分かりやすく伝えるようにすることなどこれから研究発表を行う上で参考にしていきたいです。

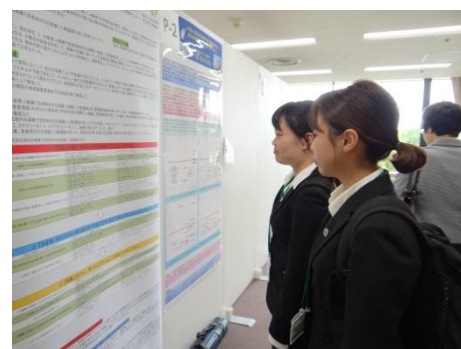
今後、私は11月にケーススタディの発表を行うため、今回学んだことを活かして発表や、統合実習に向けて取り組んでいきたいです。



3年生 神原 明希

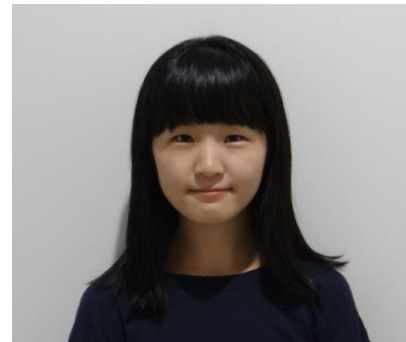


愛媛までバスで
4時間かけて
移動しました！



3年生の担任と
副担任も、研究発表
と座長で参加
しました！

今回、中国四国地区看護研究学会に参加させて頂き、私たちが行っている看護について振り返る機会を得ました。患者の看護を行う上で生じた疑問を、看護研究を通して明らかにし、情報共有を行うことで看護の質の向上に繋がることを学びました。そこでは、先輩看護師が研究成果を発表する姿を見ることができました。看護師として患者にできることを考え、試行錯誤していく中で個別性のある看護につながることを実感しました。そのためには、日々のコミュニケーションを大切にし、患者を理解しようとする姿勢こそが重要であると学びました。



3年生 太田 成美

私が特に興味を持った事例は、重症心身障害児が経口摂取から胃瘻造設になった際のご家族の認識を研究したものでした。親として児が食事という一つの楽しみを失うことを懸念する気持ちと胃瘻を造設しなければ生きる望みを絶つことになる葛藤があることを理解したうえで関わっていく必要性を感じました。また、命の尊厳を第一に考えるのはもちろん必要であるが、患者の気持ちに寄り添い、1人の人間として尊重する姿勢こそが患者目線に立った看護であると再認識することができました。

ここで得られた学びを、今後の統合分野の実習やケーススタディで活かしていきたいです。

今後の予定

10月 14日(土)～15日(日) 学校祭～15日(日)

11月 10日(金)～11日(土) 国立病院機構総合医学会(香川県) 1年生参加

11月 15日(水) 一般推薦入学試験

12月 6日(水) ナーシングセレモニー

12月 25日(水) 終業式

1月 9日(火) 始業式

1月 18日(木) 一般入学試験

編集
後記

夏休みも終わり、新学期が始まりました。今年は7月の大雨の影響で1年生の宿泊研修が8月末に延期して開催されました。学校長が美味しいカレーをつくり、学生にふるまったそうです。今号にその様子が載っていますので是非ご覧ください。2年生は基礎看護学実習Ⅱがはじまり、加えて学校祭の準備もあるので忙しそうです。その様子を次号で伝えていければと思っていますので、今後ともご愛読の程よろしくお願ひ致します。

学校祭・2017

10月14日(土) 9時～12時(8時30分受付)

題目「スクールオブナーシング」

島根県初!!!! 上映会を開催します

10月15日(日) 9時～15時

浜田駅北フェスタと同時開催!!

- 1階 : ちびっこランド ボールプール、落書きちぎり絵、折り紙
- 2階 : ハンドマッサージ オレンジ&グレープフルーツの香り
学校紹介、進路相談
- 3階 : フリーマーケット 売り切れ御免! 日用雑貨等が安い!
- 4階 : 模擬店 おいしい料理でおもてなし♥ ※販売は10:30~
- 5階 : イベント、無料カフェスペース

災害支援のため
募金を行います!



イベントスケジュール	
10:00~10:10	手話部の発表
10:20~10:50	少年少女合唱団
11:05~11:25	紫幸会 太鼓演奏
11:40~12:00	県立大学 橙蘭
12:00~13:30	お昼休憩
13:30~14:30	三谷神楽社中

平成30年度から社会人入試が導入されます!

【社会人入試】

- ・出願期間: 平成29年10月23日(月)~平成29年10月30日(月) 必着
 - ・試験日: 平成29年11月15日(水)
 - ・試験科目: 小論文 面接
- ※出願資格についてはHPをご覧ください。

[お問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構浜田医療センター附属看護学校

〒697-8512 島根県浜田市浅井町777-12

TEL: 0855-28-7788

-資料請求は公式ホームページから-

<http://www.hamakan-nh.jp/>

※その他ご不明な点などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。



スマホを
ご利用の方は
こちらから

